

「高校生・スマホ・SNS 実態アンケート」

**5人に一人はスマホ2台持ち！ SNSのアカウントは平均5.1個
情報発信するSNSは、1位「Instagram」が過半数、2位は「X (Twitter)」**

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）が提供する進路情報メディア『スタディサプリ進路』は、スタディサプリ編集部が高校生エディター＆公式LINE登録者を対象に“スマホとSNS”についてアンケートを実施致しました。また、こちらのアンケートの詳細は『スタディサプリ進路』内の「#高校生なう」でお知らせしています。

URL: <https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20230726000006/?vos=scrmot00057>

■所有デバイスはスマホ・タブレットがTOP3、5人に一人はスマホを2台持ち

大人にとってももちろん、高校生の生活にも欠かせないスマホやタブレットなどのスマートデバイス。現役高校生に、今持っているデバイスを聞くと、1位はスマートフォン（1台目）、2位タブレット、3位スマートフォン（2台目～）という結果に。なんと、高校生の5人に一人がスマホを2台持ちしていることが分かりました。普段の連絡やSNS用とゲーム用など、用途を分けて使用しているのかもしれません。

<所有しているデバイスTOP3>

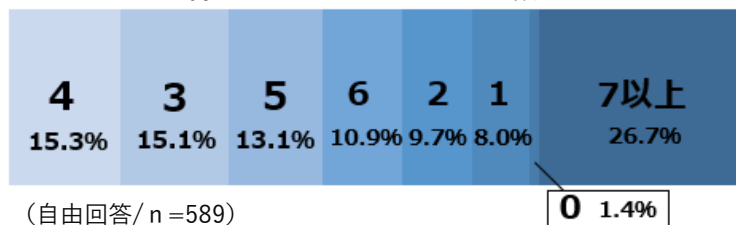
	所有しているデバイスTOP3	割合
1位	スマートフォン (1台目)	83.9%
2位	タブレット	26.1%
3位	スマートフォン (2台目～)	22.1%

(複数回答/n=589)

■持っているSNSのアカウントの数は平均5.1個。自分のさまざまな面をアカウントで使い分けか 情報発信をするSNSの1位は「Instagram」で、24時間で消えるストーリー機能での発信が多そう

デバイスを複数使う高校生ですが、SNSのアカウントはいくつ所有しているのか聞くと、平均5.1個という結果に。複数所有するのが主流のよう。趣味の繋がり用、見るだけ・情報収集専用のアカウント、学校の友達との繋がり用など、自分のさまざまな面をアカウントで使い分けて、心地よいSNSの状態を自分でうまくコントロールしていると考えられます。また、情報発信をするSNSは1位「Instagram」で、フリーコメントを見ると、24時間で消える動画投稿の“ストーリー”機能だけを使って盛んに投稿しているという人が多く、記録というよりもその瞬間の思い出を共有して楽しんでいるようです。

<持っているSNSアカウントの数>



(自由回答/n=589)

<情報発信をするSNS TOP3>

	情報発信をするSNS TOP3	割合
1位	Instagram	58.7%
2位	X(Twitter)	26.3%
3位	LINE	24.6%

(複数回答/n=578)

■編集長コメント

進路選びでSNSを使う高校生は約55%、2トップはYouTubeとInstagram！

SNSの情報に求めるのは「その学校のリアル」と「モチベーションの源」



『スタディサプリ進路ブック』
編集長
仲井 美夏
(なかい みか)

スマホでSNSを見るのはもはや高校生も大人も当たり前。そんな中で、「高校生の進路選択」にSNSがどう影響しているか。「進路選びでよく使うSNS」を聞くと、高校生の半数以上(54.7%)が進路選びにSNSを利用していました。その内訳は、YouTube(39.1%)、Instagram(35.1%)が2トップ。続いて、LINE(14.6%)、X(Twitter)(14.3%)、TikTok(9.0%)という結果に。

「YouTubeだとより本当のことを言ってそうだから。気になる大学の実情を知るために現役生や卒業生などの話を聞く」(高3女子/山形県)、「Vlogを見たりしていい所や悪いところを見つける」(高3男子/愛知県)、「Instagramで志望校に通う先輩のSNSを見て勉強のモチベをあげている！」(高1女子/岐阜県)、「自分が志望している学部の方の投稿を見て、自分の進路の参考にしたし、勉強のモチベーションにしている」(高2女子/熊本県)

現役高校生にとってSNSは、物心ついたときには生活の中に身近で自然にある情報ツールの一つ。そのメディア特性を理解しながら、上手に学校からのオフィシャルな発信から得る情報と使い分けています。多角的な情報収集で「その学校のリアル」を追求し、憧れを醸成するリアルな学生の姿を「モチベーションの源」として、進路選びに繋げている様子がよく分かります。

【アンケート概要】

- 調査時期：2023年6月22日（木）～2023年6月25日（日）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査実施機関：株式会社リクルート
- 調査対象：全国高校生男女（『スタディサプリ進路』の高校生エディター/公式LINE登録者）
- 有効回答数：589件（男子159件、女子408件、性別を選択しなかった人22件）

■『スタディサプリ進路』について

『スタディサプリ進路』は、1970年に創刊した『リクルート進学ブック』に始まり、2020年に50周年を迎えた、リクルートグループにおいて就職支援に次いで歴史の長い事業です。“「学びたい」「学んでよかった」がもっと増えていく世界の実現”をコンセプトに、変化が激しい社会の中で生徒が生き抜くために、「なりたい自分」と「自己実現できる学校」を発見し、「自分に合った進路選択の実現」を可能にするためのサービスを提供しています。高校3年間を通して、「自己理解」「職業観育成」「学びの内容理解」「学校研究」に対応するさまざまな教材ラインアップを無料で提供しています。

（詳細：<https://shingakunet.com/rnet/column/rikunabi/index.html?vos=conttwnowother00010>）

■“スタサプ編集部”について

全国3,000人以上の現役高校生からなる「スタサプ高校生エディター」と共に、高校ライフにフィットするコンテンツを作る編集部。進路や受験勉強のノウハウはもちろん、夜食レシピやメンタルを支える名言などの多様なコンテンツを、Webサイト『#高校生なう』、年8回発行の情報誌『スタサプ進学マガジン』、アプリ『スタディサプリ for SCHOOL』、会員向けメールマガジン、各種SNSで配信中。

なお、今回のアンケート結果をさらに詳しく分析した記事は『#高校生なう』の下記URLにて公開中。

<URL：<https://shingakunet.com/journal/fromsapuri/20230726000006/?vos=scrmot00057>>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>